

大垣市

かがやきライフタウン構想

～あなたにとってかがやいた人生とは～



「かがやきライフタウン・大垣」を目指して



本市では、物質的な豊かさから精神的な豊かさが求められ、経済大国から生活大国へと社会が転換しているなか、市の長期的なまちづくりCI(シティ・アイデンティティ)として、「かがやきライフタウン構想～あなたにとってかがやいた人生とは～」を策定いたしました。

人は、学校や職場、家庭、地域で多くのことを学び、さまざまな知識、経験、ノウハウをもっています。また、本市には、豊かな水や緑といった自然、受け継がれてきた歴史や文化など、数多くの地域資源があります。

この構想は、こうした本市の地域資源を生かしながら、市民の皆様の能力や個性を発揮できる場を創出し、「日本一住み良いまちづくり」を進めていこうというものです。

これまで、市内21地区で開催させていただきました「地域ふれあいトーク」、各種団体やグループとの「いきいきトーク」や「かがやきトーク」といった対話集会で、多くの市民の皆様からご意見をお聞きしてきました。

そのなかで感じたのは、市民の皆様が、各地で展開されているスローライフ運動からもう一步踏み込んだ考え方を持っておられ、それぞれが持つ能力や個性を発揮できる機会や場所を探しておられるということでした。

このため、市民の皆様が、文化、スポーツ、環境、緑化など、さまざまな分野での社会参加や地域貢献を通して、自己実現や生きがいを実現できるまち・大垣を創りだすとともに、市民・企業・行政などによる協働型まちづくりに取り組んでまいりたいと存じます。

最後に、本構想の策定に当たりまして、熱心にご議論を賜りました「かがやきライフタウン構想市民懇談会」の委員の皆様をはじめ、構想策定段階で実施いたしました「大垣市21世紀ビジョン懇談会」、「かがやきシンポジウム」、「パブリック・コメント」などでご意見やご提言をお寄せいただきました関係各位に心からお礼申し上げます。

平成16年9月

大垣市長 小川 敏



1. 構想策定の背景と目的

20世紀後半の日本は、大量生産・大量消費、スピードと効率を追求した結果、世界有数の経済大国として繁栄しましたが、人間性の喪失や環境汚染などをもたらし、バブル経済崩壊以降は日本全体が一種の閉塞状態に陥っています。

また、工業社会から情報社会への移行、経済大国から生活大国づくりへの転換といったパラダイムシフトが起きており、こうした状況に対応するための新たなビジョンが求められています。

こうした中、岐阜県では、人間の尊厳を根底においた「ふるさと再発見」を進める

「温故知新」運動を推進しており、また、全国各地の自治体でも、人々の価値観が多様であることを前提として、スピードを重視するのではなく、暮らしのスローな部分にも価値を見出しながら、地域の個性回復や生活文化の見直しを進める「スローライフ」運動が進められています。

大垣市では、これまで様々な生涯学習活動や市民活動が行われてきました。これらの活動をさらに広げるため、「人間重視」の観点で、「かがやきライフタウン構想」を策定しました。



2. かがやきライフタウンとは

かがやきライフタウンとは、市民が社会参加や地域貢献などを通して自己実現や生きがいを実感でき、**市民一人ひとりがいつまでもかがやき続け、市民の魅力で活力あふれるまち**であり、以下のような姿がイメージできます。市民がいろいろな活動に参加することが市民の魅力を引き出し、市民一人ひとりがかがやくことがまちをかがやかせることにつながるのです。

かがやきライフタウンのイメージ

市民一人ひとりを大切にするまち

- 子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが健康で、個性や経験を生かした活動を通じて自己実現や生きがいを実感できる。
- 市民一人ひとりが遊び心を大切にし、面白いまちづくり活動につなげる。

いつまでも住みつづけたいまち

- 市民一人ひとりがまちに愛着をもち、まちを誇らしく思う。
- まちの個性を大切にし、このまちにしかないものを生み出す。

交流・ふれあいのあるまち

- 家族そろって様々な活動に参加するとともに、子ども、親、高齢者の3世代の交流を大切にする。
- 地域の交流の輪を広げ、活力を生み出す。
- みんなで楽しみながら手づくり感覚で様々な活動をすすめる。

3. 構想実現に向けての基本方針

市民の自主的な社会参加への意欲の喚起や、自発的な地域貢献への関心を醸成します。また、生涯学習活動、芸術文化活動、スポーツ活動、学校・地域・職場での体験などから得た知識やノウハウを生かした様々なまちづくり活動を促進します。

こうして、市民が地域への愛着や多様な価値観を持ちながら、**かがやいた人生を実感できるステージづくり**をすすめます。

その際には、大垣市の個性ある貴重な地域資源をステージ創出に活用し、新たなまちの個性を創造するというような「循環」を生み出していきます。



かがやいた人生を実感できるステージ

生きがいを感じる活動

- 市民のもつ能力を引き出しまちづくりに活用するとともに、子育て支援をはじめとするボランティア活動や芸術文化活動やスポーツなどの活動を通して人々の交流を深めることで、市民の生きがいや自信を創出します。

誇りと愛着をもてる活動

- まちを歩きながら、まちの魅力を再発見し、市民の地域愛を高めるとともに、まちへの自信を創出します。
- 大垣市の個性である「水」を活用するとともに、「緑」を増やすことで、まちに潤いを創出します。
- 地域の歴史や文化に親しむことで、まちへの愛着を高めます。

まちに活力を生み出す活動

- まちの賑わいの創出、新たな産業の振興や職業能力の育成、全国への情報発信によって、まちの活力を高めます。



生きがいを感じる活動の例



知識や経験を生かした活動

絵画、習字、大正琴、陶芸などを得意とする人が講師になって市民に教える活動が行われています。生涯学習を通じた交流・親睦が図られています。



子育て支援

乳幼児のいる親が子どもとともに交流できる場所が設けられ、子育て相談、親の学習会、子育て中の母親の活動支援などが行われています。人々が安心して子どもを産み育てられる家庭・地域社会の実現をめざしています。



ボランティア活動を通じた生きがい創出

高齢者や障害者の自立を支援するボランティア活動が行われています。活動を通じて、人と人のふれあいが生まれ、活動する人の自己実現につながっています。



多様な人々の交流

さまざまな活動をしている人々が集まり情報交換をする中で交流が図られています。新たな出会いが新たな活動に結びつき、活動を活発化させています。

誇りと愛着をもてる活動の例



子ども達の写生大会

小中学生に大垣のまちの絵を描いてもらうことで、まちの良さに気づいてもらう活動が行われています。小さい頃からまちを愛する気持ちを持ってもらうことをねらっています。



水を生かしたイベントの開催

大垣市の個性である水門川を市民の手づくりによる明かりアートなどで華やかに飾るイベントが行われています。水と光の演出によって新たなまちの魅力が生まれています。



公園の花壇づくり

市民の手づくりにより、公園の花壇を整備し、まちを花いっぱいにする活動が行われています。花壇の手入れを通じた人と人とのふれあいも生まれています。



観光ボランティアによるまち案内

観光ボランティアによるまちの案内が行われており、まちの歴史を知ることがまちへの愛着を生み出しています。歴史を切り口に、城下町大垣を再発見することをねらいとしたスタンプラリーも行われています。

まちに活力を生み出す活動の例



学生の参加による商店街の活性化

駅前商店街に「まちなか研究室」が設置され、中心市街地の活性化にむけた様々な活動が展開されています。学生がまちづくりに関わることにより、まちが元気づいています。



コミュニティビジネス

リサイクルショップなど、空き店舗を活用したコミュニティビジネスが行われています。地域に密着した事業を起こすことによって、起業者の自己実現とともに、地域の活性化にもつながっています。

4. 構想実現に向けてのプロジェクト

(1) まちづくり活動促進プロジェクト

かがやきライフタウン構想の推進を図るため、IT(情報通信技術)の活用やまちづくりコーディネーターの養成などを通して、まちづくり活動促進プロジェクトに取り組んでいきます。

まちづくり活動促進プロジェクト

(仮称)かがやきライフタウン・フェスティバルの開催

まちづくり市民団体の見本市の開催、大学・高校による合同学園祭の開催 ほか

(仮称)かがやきライフ活動データベースの構築

まちづくり市民活動団体、人材(達人)、イベント、講座等の情報提供 ほか

(2) 各種プロジェクト

上記のまちづくり活動促進プロジェクトを中心として、「生きがいを感じる活動」「誇りと愛着をもてる活動」「活力を生み出す活動」の各分野において、プロジェクトを実施していきます。



5. 構想推進に当たって

「かがやきライフタウン構想」の推進に当たっては、市民、企業、行政などが協働して取り組んでいくことが重要であり、そのための協働の仕組みづくりを進めていきます。

協働の仕組みづくり

構想のPR

市民等が主体となって実施するシンポジウムなどの様々な事業を通して本構想を広くPRしていきます。

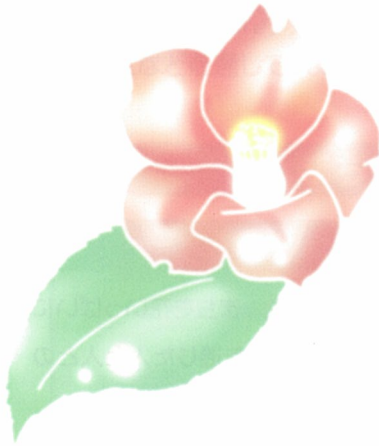
構想を具体化する組織の検討

市民等が主体となって実施していくための組織を検討していきます。

行政の取り組み

構想推進に当たって、関係部署などによる連絡調整会議を設置していきます。

【参考】活動にあたって活用したい大垣市の個性(例)



1.自然

- 水(地下水、自噴水、河川)
- ハリヨ(加賀野、西之川)、蛍(杭瀬川)
- 花(からしな、桜、さつき、ぼたん、藤、しょうぶ、カミツレ、ひまわり、椿)
- 化石 ほか

2.特産

- 木枡、石灰石、大理石加工品
- 柿、梨、銘菓(水まんじゅう、みそ入りせんべい、柿ようかん、金蝶まんじゅう)、芭蕉水豆腐、地酒 ほか

3.観光

- 大垣城、奥の細道むすびの地、美濃国分寺史跡公園、中山道赤坂宿、無何有荘大醒榭
- 水門川遊歩道「四季の路」、お茶屋敷跡(ぼたん園)、加賀野八幡神社自噴井
- 守屋多々志美術館、金生山化石館、輪中館、輪中生活館 ほか



4.イベント

- 舟下り芭蕉祭(4月)、大垣まつり(5月)、水まつり(8月)、十万石まつり(10月)、中山道赤坂宿まつり(11月) ほか
- たらい舟川下り(9月～10月)、芭蕉蛤塚忌全国俳句大会(10月)、ミニ奥の細道 芭蕉句碑めぐり(10月) ほか

5.産業

- 日本一(ナンバーワン)、日本で唯一(オンリーワン)
自動車用ヒューズ、医薬用ガラス瓶、祝酒用木枡、タイヤバルブ、土木建築用パイプ脚立、生石灰、セロハン、農業用噴霧器、自動車用シートカバー、電磁鉄心、毛芯、トラック貨物取扱量、カミツレ ほか
- IT関連産業 ソフトピアジャパン立地企業(約170社、約2,200人) ほか

6.有名人(ゆかりの人)

- 故守屋多々志氏(日本画家、文化勲章受賞者、大垣市荣誉市民)、中西重忠氏(医学博士、京大大学院教授、大垣市荣誉市民)、立川敬二氏(NTTドコモ取締役相談役、大垣市荣誉市民)、小原鉄心(大垣藩家老)、飯沼慾齋(蘭方医、植物学者)、梁川星巖(漢詩人) ほか

7.生活

- 大学(IAMAS、岐阜経済大学、大垣女子短期大学)
- 高校(普通科、職業学科)
- NPO(まちづくり団体、ボランティア団体)
- 外国人居住者(約6,000人、(参考)住民基本台帳人口:約14万8千人) ほか



このパンフレットのイラストは、大垣女子短期大学卒業生の山口奈津子さんの作品です。

発行 大垣市企画部政策調整課
〒503-8601 大垣市丸の内2-29 TEL.(0584) 81-4111 (内線 294)

